



大橋付近の水位上昇・洪水対策を

遠藤 宏司 議員

中州の除去を要望する

町長



想定外に備えよ

水害対策は

国交省は洪水のとき村山市の暮点橋付近の水位上昇を抑えるために、大淀地区に最上川の水を短時間で流すトンネルを造る計画がある。下河原公園のところの中州の除去や、できれば河岸や対岸を掘削し、川幅を広げ川の流れをスムーズにし、洪水時に大橋付近の水位の上昇を抑える対策を国に求める考えはないか。

町長 近年の気象状況は異常とも思える豪雨が発生する傾向にある。最上川の水位も急激に増水することがあり、水防活動の迅速な対応が求められるようになった。



県下で評判のおいしい給食

負担が重すぎないか

他の市町村にくらべ介護保険料や国保税、学校給食費など町民負担が重くなっている。町長はこの実態を認識しているか。対策をとる考えはないか。

町長 負担が大きいことは十分認識している。しかし人口減少や高齢化率の上昇などにより、介護サービス費や医療費が増加しているため、受益者負担はやむを得ないと考えている。学校給食費の未納はなく、町も国や県の制度と一体になり子育て支援を行い、保護者の負担軽減を図る支援策を行っていることに理解願いたい。



町長と職員の意識改革を

村岡 藤弥 議員

進める

町長



活性化は公民館活動から

町づくりは

基本的考えは、町長 第6次総合振興計画に基づき、町民の健康医療、産業の振興、道路や住環境の整備、学校教育、生涯学習の推進など課題の解決に向け努めてきた。

今後の施策は、

町長 地区ごとの公民館活動から町の活性化を進めていきたい。人口減少対策、定住促進、産業振興、子育て支援等々、推進室・窓口を

設置し定期的に検討、行動すべきでは。町長 機構改革を今後や

つていきたい。役所らしくない職員気質になることが、協働の町づくりに欠かせないと思うが。

町長 そのような意見を出しながら、職員の意識改革をしていく。

そばに特化の町づくり

秋の「新そばまつり」にとどめず、春、夏、冬の開催など、「かおり風



町中にそばの花を(新そばまつりから)

地域おこし協力隊をなぜ使わない

地域力の創造・地方の再生をうたう「地域おこし協力隊」制度を活用する考えはないか。総務企画課長 来年度から受け入れる準備を進めている。

景百選・そばの町大石田にこだわった町づくりを進める考えはできないか。町長 いいことだと思っので関係者と話し合いを持ちながら進めたい。そばの花はプランターでも簡単に咲かすことができる。「そばの花いっぱい運動」はできないか。町長 前向きに検討する。